

# 地震や津波にも特別警報があるのを知っていますか？

地震や津波については、従来からの警報のうち、危険度が非常に高いレベルのものを特別警報に位置付けています。

## 緊急地震速報（地震の特別警報）

震度6弱（人が立ってられない）以上の大きな揺れが予想される場合。



みなさんに知ってほしい！

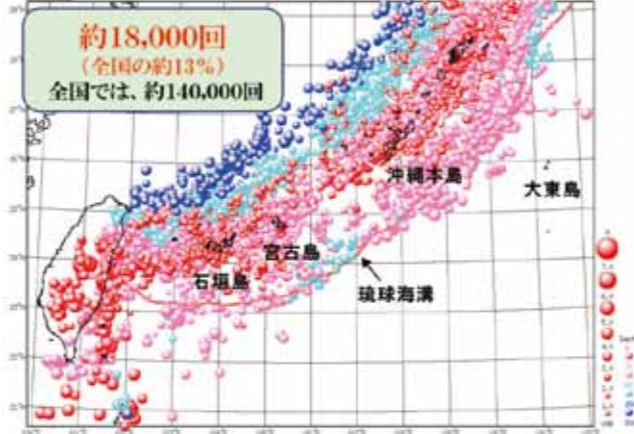


1958年3月石垣島近海の地震（石垣市の被害写真）

## 大津波警報（津波の特別警報）

高いところで3メートルを超える津波が予想される場合。

沖縄周辺では、一年間にこんなに地震が起きている！



沖縄周辺で起きた地震（2013年）

## 沖縄県内でも、今後巨大地震が起こるおそれがあります。

### 地震から身を守るには！（緊急地震速報を見聞きしたら）

1. 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難。
2. あわてて外へ飛び出したり、無理に火を消そうとしない。
3. 運転中はハザードランプを点灯し、緩やかに速度を落とす。
4. 自動販売機や窓ガラスの多いビルなどから離れる。
5. ブロック塀から離れる。



2010年2月沖縄本島近海の地震（うるま市の被害写真）

## 沖縄県内でも、過去に津波による被害が起きています。

- 1771年に石垣島近海で起こった地震による津波で、宮古諸島や八重山諸島で約一万人以上の方が犠牲になっています。（明和の大津波）
- 国の機関や専門家の報告によると、南海トラフで巨大地震が起こると沖縄県でも最大で約5メートルの大津波のおそれがあります。

### 津波から身を守るには！

1. 地震の強い揺れやゆっくりとした揺れを感じたら、**ただちに高台や近くの避難ビル（3階以上）に避難。**
2. 「大津波警報」や「津波警報」を待たずに、一人でもただちに避難。
3. 津波が発生したときに備えて、**普段から避難ルートの確認**を行いましょう。



1960年5月チリ津波によって破壊された久志村大浦橋（沖縄県災害誌より）

お問い合わせ先：沖縄気象台業務課

沖縄県那覇市樋川 1-15-15（那覇第一地方合同庁舎）  
TEL：098-833-4283



# 覚えておこう！

# 特別警報



暴風による災害



地震による災害



大雨による災害

地球温暖化が進む今、わたしたちが経験したことがない猛烈な台風や豪雨等により、これまでの想像を超える自然災害が発生する可能性があります。また本土で発生した大地震や大津波も、沖縄に住むわたしたちにとって人ごとではありません。

わたしたちが、このような災害から自分や家族を守るために、今出来ることは何でしょうか？



音声コード

平成27年3月  
沖縄気象台

# 自分や家族の身を守るためにもう一度考えてほしい・・・防災気象情報の役割

特別警報とは？…これまで経験したことがない台風や大雨により、重大な災害の発生するおそれが非常に高まっている状況の警告

特別警報が発表されると、沖縄では下の写真のような重大な災害が広い範囲で発生し、非常に危険な状況になるおそれが高い

暴風特別警報が発表されると



平成 15 年台風第 14 号 (マエミー) による宮古島での被害

大雨特別警報が発表されると



平成 26 年台風第 8 号 (ノグリー) による本島中部での被害

高潮特別警報が発表されると



平成 24 年台風第 16 号 (サンバ) による沖縄本島北部での被害

波浪特別警報が発表されると



平成 18 年台風第 13 号 (サンサン) による高波で破壊された港湾施設 (沖縄本島北部)、右は南大東島の高波

## 台風や大雨による重大な災害から身を守るためには、どのような避難行動をとればいいのか？

**暴風特別警報発表！** 危険家屋や土砂災害・水害・高潮災害の危険区域の住民は、暴風域に入る前に早めに避難しよう！

**大雨特別警報発表！** 土砂災害や浸水害の危険区域の住民は早めに避難しよう！

**高潮特別警報や波浪特別警報！** 海岸付近や高潮災害の危険区域の住民は、暴風特別警報が発表された時点で早めに避難をしよう！ 特に満潮時間帯は危険！



危険家屋；古い木造住宅やプレハブ住宅など



浸水害の危険区域：河川の流域や低い土地



土砂災害の危険区域：山や崖が近くにある区域



海岸付近の施設や船舶への被害



河口付近で発生した高潮



高潮災害の危険区域：河口付近や湾の地形など

**ポイント 1：** 自分の住む市町村から避難の呼びかけがあったら、危険家屋や災害危険区域の住民は、指定の避難場所に迷わず避難しよう！

**ポイント 2：** 外が暴風や大雨などで避難場所までの移動が困難な場合、自宅や近隣の丈夫な建物の高い所へ避難するなど、冷静に行動しよう！



**油断しないで！**

特別警報発表の場合だけが危険なのではありません。災害から身を守るには、下記の防災気象情報が伝える危機感を理解し、市町村からの避難の呼びかけに従いましょう。また、避難の呼びかけがなくても、自ら周りの状況を判断し、自主的に避難することも重要です。特に台風の場合は、危険家屋や土砂災害・水害・高潮災害の危険区域の住民は、暴風域に入る前に早めに避難することが重要です。

- ・ **暴風警報：** 台風の接近により、人が転倒するような猛烈な風が吹き非常に危険。危険家屋の住民は特に危険。
- ・ **大雨警報、洪水警報：** 大雨により、河川の氾濫や土砂災害の発生するおそれがある。浸水害や土砂災害の危険区域は危険。
- ・ **記録的短時間大雨情報：** 数年に一度の人が恐怖を感じるような猛烈な雨を観測。河川の氾濫や土砂災害の発生するおそれが高まっている。
- ・ **土砂災害警戒情報：** 大雨により地盤が緩み、大規模な土砂災害の発生するおそれが高まっている。土砂災害の危険区域の住民は危険が差し迫っている。
- ・ **高潮警報：** 高潮に高波が重なり、災害の発生するおそれがある。海岸付近や河口付近の低地及び、湾の地形の所では災害の発生するおそれが高い。

**これだけは知っておこう！**

沖縄で発生が多い災害

忘れないで！

少しの注意で被害は防げます。



強風が吹いている時は、ドアの開閉に注意しよう！



強風時、屋根などの高所での作業は危険。台風対策は風が強くなる前に済ませよう！



台風時に高波を見物に出かけることは危険。高波にさらわれる災害が度々起きています。



局地的な大雨による河川や下水などの増水や氾濫により、子供達が危険な目にあっています。

大雨注意報や雷注意報にも注意しよう！

